

リサイクルポート（1次指定）概要 ～北九州港～

北九州港は、九州の最北端に位置する特定重要港湾で、九州と本州、日本海と瀬戸内海、太平洋とを結ぶ海陸交通の要衝にある。当港の中で響灘地区は、広大で安価な用地を有しており、廃棄物海面処分場や港湾施設も整備されている。さらに、平成9年に全国に先駆けて承認を受けた北九州エコタウン事業等によるリサイクル企業が多く立地しており、西日本の拠点港としてのポテンシャルが非常に高くなっている。

当地区には、既にペットボトルや廃自動車、廃家電、発泡スチロール等のリサイクル施設が操業しているほか、平成14年に建設混合廃棄物リサイクル施設、平成16年にPCB処理事業等が操業開始する予定である。なお、今後はリサイクル施設における取扱量の増大が見込まれ、移出入先に応じて海上輸送が行われる予定である。

北九州港響灘地区

